



NEWS 第13回遠野市史編さん委員会を開催しました

5月26日(水)第13回遠野市史編さん委員会を開催しました。

冒頭に任期更新による辞令交付が行われ、新たに荒田昌典委員(民俗部会)が編さん委員に任命されました。

会議では、各部会の活動状況について報告が行われたほか、今年度の事業計画と「近現代」資料編の刊行計画の変更について協議を行い、承認されました。「近現代」の資料編は令和6年度に刊行予定でしたが、編さん期間の確保のためこれを延期し、令和7年度の刊行予定となります。

遠野市史編さん委員

- | | |
|-----------------|------------|
| 大橋 進 (委員長、近世) | |
| 藤田 俊雄 (副委員長、近世) | |
| 荒田 昌典 (新任、民俗) | 岩崎 真幸 (民俗) |
| 兼平 賢治 (近世) | 熊谷 常正 (考古) |
| 今野 日出晴 (近現代) | 斉藤 利男 (中世) |
| 菅原 伴耕 (近現代) | |



▲会議の様子 ▼新任の荒田委員への辞令交付



部会の窓 第2回近現代部会を開催しました

5月22日(土)第2回近現代部会を開催しました。午前中の会議では、今後のスケジュールや調査活動について協議し、現在不足している分野の人員補強を図ることや、次回の部会で資料編の編目や担当について協議することを申し合わせました。

また、近現代部会委員は全員市外在住であることから、午後は遠野市の土地勘を掴むため市内巡検を行いました。委員らは、旧青笹村役場

庁舎や小友村道路元標*、塚沢小学校跡地の奉安殿*などを巡り、市内に残る近現代の遺産やその立地などについて確認していました。

用語解説

- *道路元標…どうろげんびょう。
道路の起終点を示す標識。旧道路法施行令(1919)により各市町村に1個設置することとされていた。
- *奉安殿…ほうあんでん。
戦前に学校に下賜された御真影や教育勅語などを安置するための建物。



▲旧青笹村役場庁舎(遠野遺産第13号)



▲小友村道路元標(遠野遺産第87号)

調査レポート 平清水の白山神社の調査を行いました

5月25日(火)中世グループによる調査が行われました。今回調査したのは、上郷町細越にある平清水の白山神社で、平清水と呼ばれる湧水の近くに祀られています。

白山とは、石川県と岐阜県に跨る火山(標高2,702m)で、日本三霊山のひとつに数えられています。古くから山岳信仰の対象として崇められ、白山修験によって各地に白山信仰が広まり、白山神社が建てられました。

白山信仰で重要なのは“水”です。養老元年(717)に白山を開山した僧泰澄は、現在の



▲平清水の白山神社 ※神社、湧水とも私有地につき、所有者の許可なく立ち入らないでください。



▲神社裏手の豊かな水の流れ

◀調査の様子

▼森閑とした湧水



平泉寺白山神社(福井県勝山市)境内にある御手洗池で白山の女神が降臨するのを見、その導きで白山の山頂に到達することができたと伝わります。白山信仰の拠点は豊かな水のある場所にあり、山から流れ出る水を平地に分け与える水分の神、一方でその水で洪水をもたらす荒ぶる神、また航海の安全を祈る神として、白山信仰は広がっていきました。

平清水の白山神社も、山麓に豊かに水が湧く場所に祀られており、早瀬川を挟んで対岸のトンノミの森の池のそばには白山姫神が祀られています。いつ誰がこの地に白山信仰をもたらしたかは今後の研究を待たねばなりません。白山神社周辺は縄文土器や土師器などが出土し、古くから人が暮らしていたことがわかっています。



▲神社周辺から出土した縄文土器
▼白山姫神の石碑を祀る社

